

その他の輸送用機械等製造業におけるはさまれ巻き込まれ災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	22~23	三本ローラー（設備）成形作業時、材料がうまくローラーの間に入れる事が出来ず、手で材料を押し込むような動作をした時に、皮手袋がローラーの間に挟まり指も同時に巻き込まれた。	45	50~99
2	14~15	加工機（単能機）において、加工品（ワーク）の長さを短くする切削で切粉が出るが本来は竹の棒等で取り除くのであるが、今回手で切粉を取り除いた為、スライド（刃物台）と固定部に指を挟まれた。手を出すことは、当社においては厳禁しているが、本人がこれを守れず、手（手袋付）で切粉を取り除こうとした。	60	10~29
2	9~10	ワーク（自動車部品名称：変速カム）の切削後に出るカエリを除去する専用機械において、そのワークを右手で専用機械に挿入し、右手でスイッチを押すと押し型が矢印の方向に出るが、何らかの状態ですwitchを押した時にswitchに当たり押し型の所で右手を挟まれ負傷した。	33	10~29
3	15~16	顧客車両置場で塵芥車の不具合状況をサービス員と被災者の2名で確認中、被災者が塵芥車後方側面のチェーンに接近していたことに気付かず、サービス員が塵芥車を作動させた際、右手中指がチェーンに巻き込まれた。	45	1~9
4	15~16	金型・台車置場で、被災者Aは、生産終了後の金型をフォークリフトで運搬していた。所定置場に金型を置く為、フォークリフトから降り置場前にあるパイロンを移動しようと歩行していた時、台車整理を行っていた作業員Bが、折り畳んだキャスター付きの4段積みの台車が被災者Aの作業の妨げになると思い、台車を移動させようとしたが、誤ってフォークリフトの爪で台車を押ししまい、キャスターで台車が転がり、歩行していた被災者Aの右足大脛部が台車と金型に挟まれてしまっ	48	100~299

		た。		
5	11~ 12	本社工場2階作業場にて、農業機器の部品作成時、ロボット溶接での加工を行うため、両手で溶接治具へ部材をセットした。本来はセット後、両手を放すところ、左手を部材に添えたまま離さなかった為、右手でクランプ作動レバーを可動させた際に部材に置いたままの左手拇指をクランプと部材の間に挟み被災した。	39	300 ~ 499
6	13~ 14	社内加工場にて機械作業中、加工後に発生する切粉が工具にからまり、除去する際に左手人差し指に接触し、同箇所を4針縫う怪我をした。	21	30 ~ 49
7	13~14	製缶部の作業場において、フリクションプレス機で製品の成型作業加工中に挟まないように手を引こうとしたところ、肘が自分の体に当たって手が引けず、誤って左手指を機械に挟んだ。被災当時、当該作業に当たっていたのは被災者本人のみであった。	66	10 ~ 29
7	14~ 15	横中ぐり盤にセットしようとした加工物がずれて指の上に落ち、右手人差し指・中指・薬指を剥離骨折した。	58	1~ 9
10	17~ 18	STKR100×50×2.3×8000を生産中に、機械故障により一旦生産を中断した。機械修理後に再稼働を始めて間もなく、パイプ底面に踏みキズを発見し原因を探したところ、下側ロールにロールかすを発見した。研磨剤を右手に持ち、下側ロールを研磨しようとロールの回転方向側に手を当てた時、ロールとパイプに右手を巻き込まれた。	37	100 ~ 299
10	9~ 10	クレーン作業の補助をしている時にチェーンと材料の間に右手人差し指を挟み、骨折した。	19	30 ~ 49
11	16~ 17	アルマイトの形材置場で、空パレット置場から台車を引き出す時、積み重ねた空パレットが移動して、空パレットのフック部と柱の間に指が挟まり、左手小指を骨折した。	31	100 ~ 299
11	13~	当社工場内で金属加工（プレス・切断・検品・梱包等）の業務をしていた。アルミの円筒形のパイプ（400mm×φ25mm、厚さ2mm）を曲げ加工するために、プレス	44	1~

	14	作業をされていて加工品（製品）を取り出そうと手を差し入れた時、誤ってプレスペダルを踏んでしまい、その時左手を負傷してしまった。		9
11	16～ 17	L-50下皿玉入れ専用機でキャスターの金属部品の組立作業中（稼働部分（棒状）にステンレス製皿を載せて、機械で皿に玉を入れる）、機械が稼働している間に右手を入れてしまい、安全装置が作動した。その際、稼働部分が下がり、土台と稼働部分に入差し指が挟まれ受傷した。	45	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html